

華僑・華人と中華網 —移民・交易・送金ネットワークの構造と展開—

濱下 武志 著



岩波書店

2013年11月27日発行

ISBN978-4-00-025929-3 C3022

価格 5,775 円（税込）

歴史的な変動サイクルとしての「中華網」とは？

地域主義と一國史観を超える壮大にして緻密な試み

20世紀から21世紀にかけて変容しつつ巨大化する華僑・華人社会の構造と動態を、商業活動における移民・交易・送金システムを通して明らかにする。国家や地域との関係の中で、様々な結節点をもちながら放射状にネットワークを広げていくさいに明示化されていくアイデンティティとしての中華性を実証的にトレースしていく。

〈目次〉

序章 アジア研究のなかの華僑研究

総論 華僑・華人の華裔

第1章 華僑・華人ネットワークの特質——インド系と華人系の比較から

第2章 移民と商業ネットワーク——潮州グループのタイ移民の事例から

第3章 華僑送金と民間金融——資金の内部流通と外部ネットワーク

第4章 朝貢システムのなかの商業移民

——一九世紀後半の朝鮮をめぐる華僑の金融ネットワーク

第5章 植民地・帝国関係のなかの華僑

——一九三〇—四〇年代日本の南洋経済政策

第6章 香港・シンガポール関係と移民送金ネットワーク

第7章 改革開放経済のなかの「華僑的状况」

——地域社会の流動と華南の華僑資本

第8章 華僑・華人・Chineseの国際移動と華人世界

第9章 華僑・華人研究の現在——グローバルとローカルの間で

終章 中華網の歴史サイクル——華僑・華人からみた地域主義と中華性